※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	『詳説日本史』（山川出版社）						
副教材等	図説日本史通覧（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去と現在との対話から未来が創造されることを認識する。
・様々な歴史的事象について様々な立場から考え、「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とし、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

（１）我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
（２）我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
（３）我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部　原始・古代　第1章　日本文化のあけぼの　歴史資料と原始・古代の展望	1　文化の始まり 2　農耕社会の成立	a:旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 b:自然環境と人間の生活の関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成や、小国の形成と連合について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:旧石器時代・縄文時代・弥生時代の歴史の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		1　古代社会と海外との交流 2　木簡から古代国家を探る	a:中国の歴史書の記事をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につけている。木簡の記録をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:中国の歴史書の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察、仮説を表現している。木簡の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し仮説を表現している。 c:日本列島における小国及びヤマト政権と中国・朝鮮半島などとの交流について考察することを通じ、古代の対外交流の実態を明らかにしようとしている。木簡を資料として活用、律令国家における文字文化の広がりについて主体的に考察しようとしている。	提出物	提出物	提出物
	第2章　古墳とヤマト政権	1　古墳文化の展開 2　飛鳥の朝廷	a:国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b:中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、ヤマト政権の展開や、渡来人によって伝えられた文化に着目して、古墳時代の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:ヤマト政権の成立と古墳文化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

第3章 律令国家の形成	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	a:律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b:中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:律令政治の導入と、それに伴う社会の変化について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
第4章 貴族政治の展開	1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	a:貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 b:地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:平安時代の国家・社会の変容について、歴史資料の特性を踏まえ、資料を通じて読み取れる情報から、多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進	1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	a:貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 b:権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:貴族政治の変容や武家政権の成立、当該期の世界との関わりについて、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
歴史資料と中世の展望	絵画から中世社会を探る	a:絵画資料を比較し、様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめている。 b:絵画資料に描かれている中世の都大路の様子を比較した結果について、時代を通観する問いを踏まえて考察し、仮説を表現している。 c:中世社会の特色について主体的に課題を見出そうとしている。	提出物	提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第６章　武家政権の成立	1　鎌倉幕府の成立 2　武士の社会 3　モンゴル襲来と幕府の衰退 4　鎌倉文化	a:武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 b:公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目し、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性を多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c: 武家政権の成立と展開、鎌倉時代の産業・文化の発展、公武関係の変化、ユーラシアとの交流について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
２学期	第７章　武家社会の成長	1　室町幕府の成立 2　幕府の衰退と庶民の台頭 3　室町文化 4　戦国大名の登場	a:武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 b:社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第Ⅲ部　近世　第８章　近世の幕開け	1　織豊政権 2　桃山文化	a:織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 b:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:織豊政権の成立前後からの歴史の展開や桃山文化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

歴史資料と近世の展望	生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	a:法令の内容を適切に読み取り、生類憐みの令が出された当時の社会の雰囲気について、文芸作品との関わりも踏まえて理解している。 b:生類憐みの令が出された時期の諸政策や国際的な環境の変化をもとに、江戸時代の特徴を多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 c:戦国時代までの社会の在りかたと比較し、近世がどのような社会に変わったのかについて課題を主体的に追究しようとしている。	提出物	提出物	提出物
第９章　幕藩体制の成立と展開	1　幕藩体制の成立 2　幕藩社会の構造 3　幕政の安定 4　経済の発展 5　元禄文化	a:法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、産業の発達、近世の社会と文化の特色を理解している。 b:織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
第１０章　幕藩体制の動揺	1　幕政の改革 2　宝暦・天明期の文化 3　幕府の衰退と近代への道 4　化政文化	a:飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 b:社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第Ⅳ部　近代・現代　第１１章　近世から近代へ	１ 開国と幕末の動乱 ２ 幕府の滅亡と新政府の発足	a:対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 b:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕末の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	歴史資料と近代・現代の展望	１ 五箇条の誓文と国是 ２ 貿易の変遷からみる日本の近代・現代	a:五箇条の誓文の内容を踏まえたうえで、自由民権運動や初期議会、戦時下の学校教育や占領下の日本における同資料のあつかわれ方を読み取っている。開国以降の日本の貿易において、輸出産業の振興と輸入品の国産化をはかる経済政策がとられた背景を諸資料から読み取っている b:五箇条の誓文のあつかわれ方から、近代・現代の歴史のどのような流れを読み取ることができるかを考察し、仮説を表現している。近代・現代における各時期の貿易の変遷から、その課題が何であったかを考察し、日本の産業の変化について仮説を表現している。 c:時代を通観する問いを踏まえ、五箇条の誓文のあつかわれ方を通してみえる日本の近代・現代の歴史の展開について、展望しようとしている。時代を通観する問いを踏まえ、近現代における日本の産業が抱える課題について、主体的に追究しようとしている。	提出物	提出物	提出物
	第１２章　近代国家の成立	１ 明治維新と富国強兵 ２ 立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程について、諸資料から情報を読み取って理解している。 b:諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治維新や近代国家形成の変化関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

３学期	第１３章　近代国家の展開	１　日清・日露戦争と国際関係 ２　第一次世界大戦と日本 ３　ワシントン体制	a:条約改正、日清・日露戦争を基にアジアや欧米諸国との関係の変容や、第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b:アジアや欧米諸国との関係、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化や東アジア・太平洋地域における国際協調体制に関する諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第１４章　近代の産業と生活	１　近代産業の発展 ２　近代文化の発達 ３　市民生活の変容と大衆文化	a:産業革命の展開、交通の整備、学問の発達、教育制度の確立、社会問題の発生、芸術・出版・マスメディアの発展などを基に、国民国家の形成や近代の文化や社会の特色について理解する。 b:産業の発達の背景と影響、労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:産業の発展とそれによる社会問題への対応、明治期の文化、大衆社会に関する諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

第15章 恐慌と第二次世界大戦	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	a:恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 b:国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 C:満洲事変や国内の国家改造運動の展開や第二次世界大戦期の国際関係に関する諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
第16章 占領下の日本	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	a:占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興などを基に、我が国の再出発及び国民生活の変容を理解する。 b:第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:戦後日本の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
第17章 高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	a:保守政権の誕生に至る経緯、アジア諸国との関係、高度経済成長などを基に、政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解する。 b:国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:55年体制の歴史的意義や保守政権の安定化、高度経済成長がもたらした国内・国際的な日本の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第１８章　激動する世界と日本	1　経済大国への道 2　冷戦の終結と日本社会の変容	a:社会・経済・情報の国際化などを基に、1970 年代以降の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 b:国際社会の変化、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:現代日本の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	現代日本の課題の探究	様々な災害と日本	a:過去の災害に関する諸資料を読み解いて得られた情報をもとに、現代日本の課題の形成に関わる歴史を理解している。 b:過去の災害に関する諸資料と、既習知識と結びつけて多面的・多角的な考察し、表現している。 c:自ら主題を的確に設定し、資料を適切に解釈したうえで複数の解釈を比較・検討・選択し、充分な論理展開で叙述・表現している。	提出物	提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度